

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

平成11年1月25日 第43報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	9		
(黄鞭) <i>Pseudokephyron</i> sp.	5		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	110		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	5		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	580		
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis</i> var. <i>pusilla</i>	10		
(珪) <i>Skeletonema potamos</i>	80		
(珪) <i>Rhizosolenia longiseta</i>	5		
(珪) <i>Fragilaria capucina</i>	130		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	260		
(珪) <i>Synedra ulna</i>	5		
(珪) <i>Navicula</i> sp.	5		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	10		
(渦) <i>Peridinium berlinense</i>	20		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	540		
(み) <i>Trachelomonas oblonga</i>	5		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	5		
(緑) <i>Golenkinia radiata</i>	20		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	124	6.9	12.3
(珪) 珪藻綱	1090	60.4	66.7
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	1.1	1.2
(褐) 褐色鞭毛藻綱	540	29.9	17.6
(み) みどり虫藻綱	5	0.3	0.1
(緑) 緑藻綱	25	1.4	2.1
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	1804	総体積	5.20E+05
種 類 数	18	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は *が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/l)
繊毛虫類	<i>Stokesia</i> sp.	20

第 2 優 占 種		個体数 (個体/l)
繊毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	20

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種

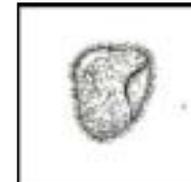
Cyclotella glomerata (ヒメマルケイソウ) 珪藻綱



細胞は、横から見ると長方形に見えるが、真上から見ると円形に見える。その直径は4~10 μm と小さい。多数が鎖状に結合して群体をなす。

動物プランクトン第1優占種

Stokesia sp. (ストケシア) 繊毛虫類



個体の腹側は平らであり、密に繊毛が生えている。体の周縁部に比較的長い繊毛を持っている。繊毛虫の仲間では、大型の種類である(個体の長さ100~200 μm)。南湖において春季に観察されている。

コメント: 植物プランクトンは、珪藻のヒメマルケイソウが最も多かった。動物プランクトンは、ストケシアやスナカラムシなど大型の繊毛虫が、それぞれ20個体/lで多かった。